

土曜登校なくして／お菓子許可を  
**松本市議場で模擬議会**  
 松本秀峰生 学校生活を質問・答弁



「議員役」の生徒(手前)の質問  
 に答弁する「行政役」の生徒

松本市の松本秀峰中等教育  
 学校3年生約80人が14日、模  
 擬議会を松本市議会の議場で  
 体験した。同校初の試みで、  
 「議員役」の生徒が日頃の学  
 校生活について質問し、「行  
 政役」の生徒が学校側の立場  
 に立つて答弁。質問の趣旨を  
 踏まえて的確に答えたり、相  
 手の立場を尊重したりといっ  
 た議論の基本を学んだ。  
 質問は議員役の生徒が事前  
 に通告。「土曜登校をなくし  
 てほしい」との質問に、行政

役の生徒は「未来の日本や世  
 界をリードする人材の育成」  
 をうたう建学精神に触れ「土  
 曜登校は」より多くのことを  
 習得するためにある」と理解  
 を求めた。疲労回復のため「お  
 菓子を持つてくることを許可  
 してほしい」との要望には「食  
 事で糖分を摂取してほしい」  
 と答弁した。  
 議論中には笑い声が上がった  
 り、感情的なやりとりになっ  
 たりする場面も。議員役の生  
 徒からは「少数意見を大切に  
 して」との声もあった。

り意見していた」。行政役の  
 花岡遼さん(15)は「話し合う  
 ことの大切さと難しさを感じ  
 た」と振り返った。  
 議場内で生徒たちの議論を  
 見守った小宮山淳校長(元信  
 州大学長)は「生徒たちは普  
 段、このように言い合う機会  
 があまりない。ユーモアを交  
 えながら良い経験ができたの  
 ではないか」と話していた。  
 主権者教育の一環で市選挙  
 管理委員会が、議場の活用を  
 学校側に提案した。市議会事  
 務局によると、学校だけで議  
 場を貸し切って模擬議会を開  
 くのは異例という。